

基本構想  
(目指すべき将来像)

さらなるごみの減量・リサイクルによる  
「資源循環型社会の構築」

基本方針

(市の現状・課題を背景に設定)

【課題1】

【課題2】

【課題3,4,6,7】

基本方針 1 「減らす」

基本方針 2 「分ける」

基本方針 3 「安心できる」

ごみの発生抑制と再使用  
(2R) を優先的に進めます

ごみの分別と  
資源化を徹底します

環境負荷の低減に努め  
効率的かつ経済的な  
ごみ処理を目指します

資源やエネルギーを必要とする「リサイクル」よりも優先すべき対策であるごみの発生抑制と再使用の取組を進めます。

ごみの発生抑制と再使用の取組を進めてもなお発生するごみを適正に分別するために、市民に分かりやすい区分によって適正に分別し、可能な限り資源化することを徹底します。

収集から最終処分までの各過程において、温室効果ガス排出量の削減や環境汚染物質の発生抑制などの環境負荷の低減に努め、効率的かつ経済的な事業運営を目指します。

数値目標

目標  
R14  
年度

① 家庭系ごみの減量目標

R1比で●●●トン以上減量  
(市民1人1日当たり  
●●●g以上減量)

② 事業系ごみの減量目標

R1比で●●●トン以上減量  
(市民1人1日当たり  
●●●g以上減量)

③ ごみの埋立処分量の減量目標

R1比で●●●トン以上減量

上記目標の達成に向けた課題の把握、施策の改善や見直しの際に参考として把握する指標 (≒市民等の行動目標)

① 家庭・事業所から出る  
食品ロス量

② リサイクル率

③ 容器包装プラスチック類・古紙類  
の収集・資源化量

基本施策

(目標達成に向けた取組)

基本施策 1

基本施策 2

重点施策

主な一般施策

推進方策

市民・事業者・行政の協働  
【課題5】